

\*\*\*\*\*  
第73号 2022年1月7日

# 税制懇ニュース

\*\*\*\*\*

発行所  
全国税制懇話会  
〒169 東京都新宿区百人町1-16-18  
-0073 センチュリービル2F  
東京税財政研究センター内  
☎03(3360)3871 FAX03(3360)3870

全員参加の書面総会で活動を一步前へ

## 4月7日 全国研究集会をリモート開催

メイン講師は三木義一青学大名誉教授

全国の税制懇会員の皆様、あけましておめでとうございます。



小田川理事長

新型コロナウイルス感染症が収束しない中で、会員の皆様が一堂に会し、交流することはいまだ困難という状況下、三役会議において「書面総会」を成功させ、会としての活動を一步前に進めることを決めました。昨年12月下旬、総会議案とともに賛否の表決書をお届けしました。ぜひ、議案を審議し、投票へのご協力をお願い致します。

議案でご提案したとおり、4月7日にはリモートによる全国研究集会を開催する予定です。メイン講師として、三木義一先生(青学大名誉教授)からすでに快諾を得ており、演題は「税のタブーについて考える」です。ご期待ください。また、インボイス制度や電子帳簿

### 仲間を増やしましょう

全国税制懇話会の組織現勢  
(令和3年11月13日現在)

No.	ブロック	正会員(現勢)
1	北海道	24
2	東北	9
3	関信	26
4	東京	72
5	東海	23
6	北陸	8
7	近畿	41
8	中国	6
9	四国	3
10	九州	5
11	沖縄	7
合計		224人



山中湖から富士山を望む

保存法など、税理士業務に重大な影響を及ぼす事態が進められる中、今回は小田川理事長が「新電帳法への対応」と題して報告します。

### 学習が必須の情勢

税政・税務行政をめぐる今日の情勢は、私たちに對し、研究・学習及び情報交換(交流)の必要性を求めています。年末から正月にかけての文書総会を成功させ、コロナに負けない活動をしたいと思います。改めて、皆様のご協力をお願い致します。

# すべての税理士への熱烈メッセージ

故山本守之先生最期の出版

## 守之節 税理士としてのワビ、サビ、洒落、そして作法

～ 山本守之著 中央経済社出版 1,800円+税 ～

全国税制懇話会の常任講師として、30余年の長きにわたりご指導いただいた山本守之先生は昨年11月29日に他界され、その折には、税制懇ニュース（2021年1月25日付）にて守之先生に対する哀悼の意とともに謝辞及び守之先生関連の記事を掲載し、会員の皆様にもお知らせしたところです。過日、ご逝去から1年近く経とうというなか、守之先生のご長女・結花様からご家族の近況のご報告及び、先生最期の書籍出版のお話がありました。

### 《人間の感性から税を見つめる大切さ》

寄贈された本を拝見しますと、これまで守之先生が出版されてきた本とは全く異なる、まさに「税理

士のあるべき生きざま」論が綴られたものでした。その生きざまの根底には、常に「納税者の権利」がドンと座っています。これは、すべての税理士が必読に値する書籍で、これからの税理士の使命とは何かを示唆する守之先生の熱烈メッセージとして、推薦し、ご紹介させていただきます。

### 《租税正義の実現めざして》

この本は3部構成で、メインは第3部の判例解説。その冒頭、税理士法1条の税理士の使命について、先生は「私個人の考え」と前置きしたうえで、「租税法律主義に基づいて納税者の権利を擁護し、租税正義を実現することを使命とする」「そうした方が税理士の立場をすっきり表現しているのではないかと。これは、弁護士法と近似した考え方ですが、明快で何とも気持ちがいい。これなら、税理士稼業にも気合が入るのではないだろうか。

この本の「おわりに」で、結花様が記述された一文を要約させていただきました。「人間の感性から税を見つめるという、父(守之先生)の生きざまをお届けする本となり、最期の本にふさわしいものが仕上がりました。」

